

次号の特集予告

289 巻 2 号 (2024 年 4 月 13 日発行)

ニューロエコノミクス(神経経済学)とは何か？ ——ヒトの価値観が生まれる脳の仕組みの理解とその先の未来

企画：山田 洋(筑波大学医学医療系認知行動神経科学研究室)

- ・ニューロエコノミクス(神経経済学)は“ヒトの脳が価値を評価する仕組み”を問う学問である。日本ではまだまだなじみの薄い学問であるが、アメリカでは 2000 年初頭に産声を上げた。
- ・われわれヒトの脳は意識的に、または無意識的に物事の良しあしを判断して行動を決めることを繰り返すので、ほぼすべての日常行動が神経経済学の研究対象である。
- ・現在、価値観を生み出す脳の仕組みの理解が徐々に進みつつある。その知見を心の病の理解へ適用する臨床的な試みや、福祉政策にいかそうとする公共的な試みもあり、研究が今後も発展していくと考えられる。